

# 在京石鳥谷町人会だより



## 在京石鳥谷町人会だより

発行所 在京石鳥谷町人会  
埼玉県さいたま市桜区  
大久保領家630-34

電話 048-855-7577

発行者 熊谷福二  
編集 広報部  
責任者 飯塚悦子  
印刷 福本印刷所

## 故郷の小さな市役所

ごあいさつ



在京石鳥谷町人会

会長 熊谷福二

色鮮やかに咲く桜のように、生氣あふれる日々をお過ごしのことと存じます。

平成十八年度在京町人会が、花巻市又、会員皆様、近隣在京人の方々、関係各位、石鳥谷協賛の方々に支えられ十月二十九日、賑やか盛大に無事開催され皆様方に深く感謝いたし、御礼申し上げます。

故郷の町は、昨年新花巻市大きな町に成り、十九年四月より地域振興に力を入れる様になりました。チャイイ市役所（地域振興センター）誕生その内容を皆さんにお知らせいたします。

新花巻市内に、二十六箇所の設置振興センターが出来そのうち石鳥谷町内には、六箇所振興センターが出来ました。

## 故郷の小さな市役所

好地 石鳥谷国際交流センター内  
大瀬川 旧大瀬川公民館  
八日市 八日市いきいき交流館内  
八幡 旧八幡公民館  
八重畑 八重畑定住促進センター内  
新堀 旧新堀公民館  
各振興センターには職員が二名ずつ配置されました。

・（振興センターの役割業務）

一、地域づくりコミュニティ活動の拠点

二、地域住民に身近な生涯学習の拠点

三、窓口業務

戸籍の謄本・抄本  
除籍の謄本・抄本

戸籍・除籍の記載事項証明、住民票、戸籍附票、印鑑証明、納税証明

なお、石鳥谷総合支所（旧石鳥谷町役場）は、これまでどおりです。

町人会といたしましても、ふるさと町発展に皆様方のご協力御支援を賜り交流を深めるよう御願います。

今年度総会二十回目になり（十月二十八日総会）記念する年にと役員皆さん奮闘致しております。

皆様に喜んでもらえる懇親会にしたいと思ひ御協力御願ひ申し上げます。

す。

## 斑雪

在京石鳥谷町人会

顧問 後藤 栄



水染みて斑雪に浴いし

春蘭に

すでに花の芽

あわ緑なり

夜とともに雪は谷道

ひたかくし

小さきけものら

はやばや眠る

たちまちに流るる霞の

その奥処

思ひ出葛丸

潜みておるらん

里山のピラカンサの朱

実を揺らしつつ

“ヒーヨ”の一群

なにやら騒ぐ

赤き葉の

散り敷ける道を町人会

旅人のごとく

ひた歩くなり





# 谷町人会総会



和気藹々と歓談

## 町人会に参加して

総務 吉田 久美子

十月二十九日、上野の精養軒に於いて第十九回目、石鳥谷町人会総会、親睦交流会が開催されました。今年から花巻市となりましたので、事務局は石鳥谷役場から町人会へと移りました。それぞれ役割分担し、活動、やつと当日、穏やかな小春日和でした。ウエルカムドリンクで歓迎しテーブルへご案内。

十一時半から総会が始まり、熊谷会長のご挨拶、総会収支決算、決算等の報告を承認、決議を採択。来賓



紹介と続き総会は終了しました。

続いて親睦交流会です。乾杯のご挨拶のあと郷土のお酒と沢山のお料理を頂きながら、「お久しぶりです」と始まりました。さっそくアトラクション。今年初めて役員によるフラダンスのご披露です。草間マサ子さんのご指導により涙そくそくの音楽に合わせ八人、スマイルで踊りました。次は南米の民族音楽演奏です。八幡出身の上川さんのグループによる皆様にお馴染みの「花祭り」や「コンドルは飛んでゆく」など、体が自然にリズムに乗り踊りたくなるようなとても素晴らしい哀愁も感じる演奏でした。

大石市長も大変ご多忙の中、駆けつけてくださり、さっそくご挨拶を頂き、会員の方々と記念写真を撮ったりと一層和やかなムードで会員相互の親睦は深まってきました。後半、郷土の物産品の福引抽選会。最後は全員大きな輪となり故郷や北国の春など歌い郷愁の心が一つになり、「又来年も会いましょう」とお名残惜しく盛会にて、お開きとなりました。







ロス・ポラーチョス南米民族音楽の演奏

# 自立した はじめての 在京石鳥

十月二十九日の町人会開催に際し、役員の方々には長期間に亘ってのご準備の下に、協賛各企業より沢山の品々のご提供を頂き、大石市長はじめ、ご来賓各位並びに大勢の会員のご参加を頂きまして、始終和やかな雰囲気の中で盛会裏に開催されました。これより先、去る7月に開催された「在京花巻人のつどい」の懇親会の場で、総合支所長の藤原さんより、本会のご案内を頂いておりましたので、この日を楽しみにして頂きまして、同級生の川村君と共に参加させて頂きました。

群馬県大泉町在住（新堀出身）  
伊藤 精 司

## 町人会に参加して



大石花巻市長と



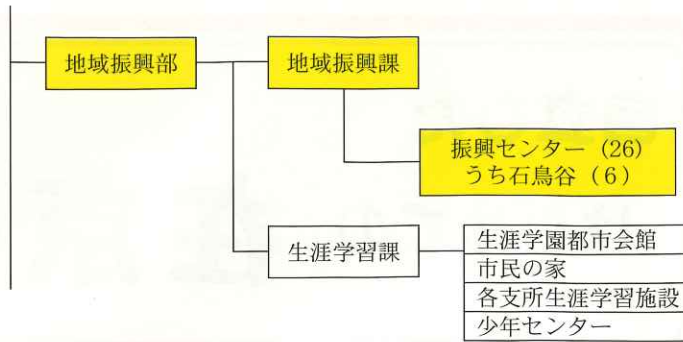
総会に引き続いての懇親会のアトラクションでは、女性役員でのフラダンスやロス・ポラーチョスのメンバーによる南米民族演奏により、会場の雰囲気を和ませて頂きました。長年郷里を離れて生活してきますと、日々の生活に追われて兎角郷里の事を忘れがちになってしまいますが、町人会へ参加したことで郷土の懐かしいお料理をご馳走になり、物産展でお土産を購入し郷里の方々や会員の皆さん方と談笑しながら、暫し故郷に思いを馳せました。

来年は町人会二十周年目を迎えるということですので、関東地区在住の我が同級生にも、機をみてお声掛けしたいと思っております。

役員さん方のご努力と、協賛各社のお陰で、懐かしいふるさとのかわり”を届けて頂き大変感謝しております。



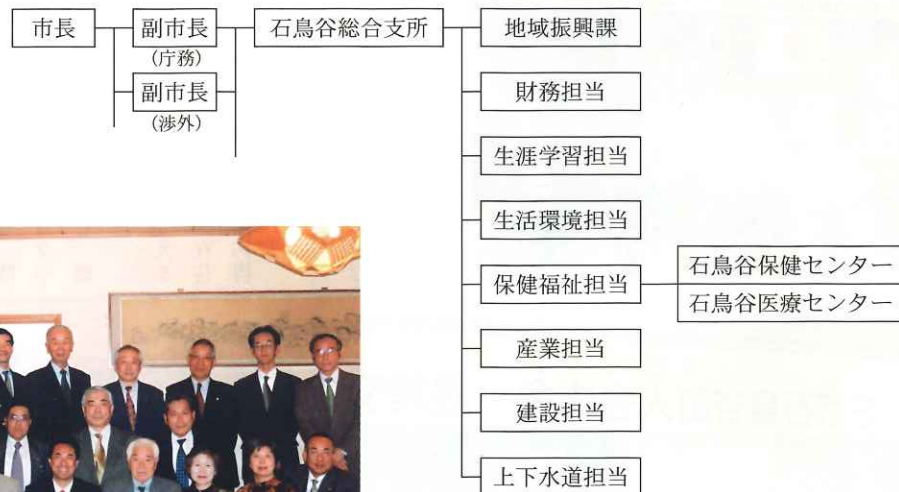




好地 振興センター	花巻市石鳥谷町好地第8地割78番地3 石鳥谷国際交流センター内
大瀬川 振興センター	花巻市石鳥谷町大瀬川第10地割45番地2
八日市 振興センター	花巻市石鳥谷町大興寺第8地割57番地4 八日市いきいき交流館内
八幡 振興センター	花巻市石鳥谷町八幡第23地割147番地
八重畑 振興センター	花巻市石鳥谷町猪鼻第7地割30番地1 八重畑定住促進センター内
新堀 振興センター	花巻市石鳥谷町新堀第40地割27番地2



花巻市では活性、発展を図るためIターン、Uターン希望者の募集、企業の誘致、そして宮沢賢治をはじめとする、恵まれた観光地を前面にして『花巻へ行こう』で観光の呼び込みを行っております。



花巻市長との懇談会

企画担当 河 嶋 稔

### 花巻市長との懇談会

副会長 大竹 雅夫

大石市長が産業立地フェアに出席の為上京されるので、その機会に市長との懇談会を持ちたいとの呼びかけが在京花巻人会よりありました。

平成一八年一月一日(水)午後三時から四時半まで有楽町「大雅」(花巻市東京事務所ビル地下)在京石鳥谷町人会より熊谷会長・河嶋副会長・飯塚副会長・菊池監事と小生の五名が出席しました。

花巻市から大石市長・市川総務課主査・石崎地域振興課副主査・高橋東京事務所長、在京花巻人会から畠山会長代行他六名、在京大迫人会から村田得別相談役他二名、在京東和町友会から佐々木会長他二名の出席。

「より多くの方々に花巻において頂くために」をテーマに参加者一人一人から「ふるさと花巻」への思いが語られ、市長からこれらへの感謝をこめた暖かいご回答がありました。

先日、中央線三鷹駅に「いわて・花巻大沢温泉の旅」の大きなポスターが貼ってありその上に総会資料に同封した「温泉三昧」や「大沢温泉のパンフレット」が自由に取れるようになっていました。これは市長との懇談会の成果が早速現れているのかなと思えました。

## 特集

## 花巻市と合併してどこがどうなったの？

在京石鳥谷町人会会員の中で、石鳥谷町が一市三町の合併で新しい花巻市の一員となった事、どのように変わったのかわからないと言う方々が多数おられましたので、簡単にQ&Aで記します。

- Q どこと、どこが合併したの  
A いずれも『旧』花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町です。
- Q 新しい市の名称は  
A 花巻市です。
- Q いつから合併か  
A 平成18年1月1日からです。
- Q 住所の書き方は  
A 旧花巻市は変わりありません。  
・大迫、石鳥谷は稗貫郡を、東和は和賀郡を花巻市に変えるだけです。  
・その他、町、字等は変わりません。  
(例・岩手県花巻市石鳥谷町好地1-2-3)
- Q 新市の将来像は  
A 早地峰の風薫  
安らぎと活力にみちた  
イーハトーブはなまき
- Q 新市の基本方針は  
A 人・物・情報の多様な交流による地域活力壊成。  
分権型社会に即応した住民参画型都市の実現。
- Q 新市の基本目標は  
A ・美しい自然と地域で、みんなが快適に暮らせるまち。  
・地域社会のふれあいで、みんなが安心して暮らせるまち。  
・多様な文化と交流で、みんなが輝き豊かな心を育むまち。  
・技術と知恵の連帯で、みんなが豊かさを実感できるまち。
- Q 市役所と役場はどうなるの  
A 市役所の本庁舎は旧花巻市役所です。  
旧三町の役場はそれぞれ総合支所となります。  
『花巻市石鳥谷総合支所』です。  
在京石鳥谷町人会と石鳥谷町との交流窓口は石鳥谷総合支所を通じて行います。
- Q 市の人口は  
A 平成18年12月1日現在 104,342人です。  
岩手県内では、盛岡市、奥州市、一関市に次いで4番目で、7.6%です。
- Q 市長さんはどなたですか  
A 平成18年2月5日、市長選挙が行われ、旧花巻市議会議員の大石満雄さんです。  
又、副市長は旧花巻市総務部長の佐々木稔さんと、旧石鳥谷町長の高橋公男さんのお二人です。
- Q 市議会議員の定数は  
A 34人です。  
地域ごとの選出ではありません。市全体が一選挙区です。旧石鳥谷町からは7名当選されております。

平成19年4月1日の組織改編に伴う石鳥谷総合支所の連絡先と組織図は次の通りになります。

石鳥谷総合支所：〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161 (従来通りです。) ☎0198-45-2111 (代) (従来通りです。)

## 各地区に振興センターが設置されます。

## 【振興センターの宅割り】

- ・地域づくり、コミュニティー活動の拠点
- ・地域住民に身近な生涯学習の拠点
- ・窓口業務
- 各種証明書の発行

戸籍の謄本・抄本、除籍の謄本・抄本、戸籍・除籍の記載事項証明、住民票  
印鑑証明、納税証明

- ・住民へのネットワークを活用した各種業務の提供・共有
- ☆旧石鳥谷町内には下記の6カ所が設置されます。





### 在京石鳥谷町人会20周年記念の開催について

日時 10月28日(日) 受付AM11:00  
 会場 上野精養軒  
 参加費 8,000円 (ご家族2人の場合は15,000円)

同級生や知人に声を掛け合い、1人でも多くの参加を期待しています。郷土芸能も呼ぶ予定です。りんどう亭の郷土料理に舌つみを打ちながら、懐かしいふるさとの話を語り合いませんか。

### これからの催し物・予定

- ☆相模原わかばまつり 5月12日(土) ~13日(日)
- ☆岩手県人の集い 6月10日(日)
- ☆石鳥谷夢まつり 8月13日(月)
- ☆石鳥谷観光物産展 月日未定 (阿佐ヶ谷商店街)
- ☆在京石鳥谷町人会 10月28日(日) 総会・親睦交流会
- ☆その他

### でかけてみませんか!

### 岩手県人の集いへ

日時 6月10日(日) 受付AM10:00  
 会場 京王プラザホテル 5F  
 参加費 8,000円

物産品コーナーでは、山菜・漬け物・南部せんべい等の懐かしい味や、風味“岩手のかおり”がいっぱいです。しばしの間、岩手に心を馳せてみませんか。



→ 応援風景 ←



### 全国綱引き大会 応援記

監事 柳原政義

三月四日(日)千葉ポートアリーナに於いて、全日本綱引選手権大会が開催されました。ふるさと石鳥谷町綱引き協会の女子選手チームは、昨年に引き続き岩手県代表として日本一を目指して出場しました。

「今年もよく来た」と町人会有志が、声が潤れるまで応援しました。あの選手達の気合いと勢いが会場いっぱいになり、熱い闘いが満々。結果は残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。試合終了後、選手の宿の五井ランドホテルの慰労会で、来年の日本一プランや練習の苦労話等で大いに盛り上がりました。石鳥谷猛女達を送り出した家族、特に理解と協力してくれた石鳥谷の男達を改めて評したい。来年も応援記のペンを執りたい。



石鳥谷女子チームと応援団

総務 藤原富藏

### なんちよどもえ 話っこ

「あれから四十年」  
 大都市への労働者の流動は戦後間もない頃から始まっており、団塊世代の圧倒的な数の都市への流れは、高度成長期と重なり時代の象徴そのものでした。

「おめえが行くなら俺らあも行く」とおんず(二男、三男他存なくともい者、邪魔者達の目は輝いていました。オジャマモンは主役を目指して、各分野で豊かさを求めて勇猛に働きましたね。石鳥谷を想い郷愁に浸る暇など皆無でした。昭和50年代に入ると、経済成長は相変わらず続いたましたが、おんず達にも漸く余裕らしいものが生まれてきました。故郷に帰りたい、戻りたい、しかしながら実生活と云う現実、悶々とした日々の中で、ふとふるさとへの想いを綴った石鳥谷杜氏の唄。

ハアィヤ、ハアィヤ  
 ハイハイド、ハイハイド

1、鹿踊りの撥の音にあわせて  
 今朝も早よから仕込み仕度  
 父も母も子供達も  
 座ることもネじゃ  
 ハアィヤ、ハイハイドナ  
 手造り、旨い酒、じよつぱり酒  
 「ほんだほんだじゃ」  
 昔も今もこの伝統だ

3、杉生桜が満開の季節にヨ  
 杜氏の胸鳴る仕込み作業  
 腕と勘なら日の本一  
 人間国宝だ  
 ハアィヤ、ハイハイドナ  
 吟ぎんが、御膳酒、国の酒  
 「こころああたりは」  
 南部、稗貫、石鳥谷

ハアア、ハアィヤ、ハアィヤ  
 (昭和五五年作)

ふるさと石鳥谷を想う、仲間達もこんな心境ではなかっただろうかと回顧しております。  
 淵澤能恵さんも稗貫ことば、地方文化の最たるものではないでしょうか、英語より難しい発音、是非々々継承したいものです。

### 編集後記

広報部としては、まだまだ駆けだし状態ですが、会長、役員そして会員の方々のご協力により、第二号を発行することが出来ました。  
 寄稿頂いた会員の方には、感謝すると共にお礼申し上げます。  
 どんな事でもよろしいです。  
 写真とコメント、ふだん感じている事、等々、どんどんお寄せ下さい。  
 次号は九月一日発行の予定です  
 (原稿七月末日迄)  
 広報部員心からお待ちしております。  
 (飯塚)